

疾病についての報告や、敗血症、アルコール関連死、妊産婦死亡に関する報告などがあり、大変興味深いものであった。

(林 玲子 記)

## 「第5回数値計算及び数理人口動態に関する国際会議」2019年（フロリダ）

2019年5月19日～同年5月24日にアメリカ合衆国、フロリダ州フォート・ローダーデールにあるヒルトン系列のマヒア・ビーチホテルで開催された「第5回数値計算及び数理人口動態に関する国際会議」に参加した。この大会は北米・ヨーロッパを中心とする数理生物学に関する応用数学の学術会議である。大西洋に面するビーチに面するリゾート地で開催された本大会は、アメリカ・ヨーロッパだけでなく中国や日本も含むアジアからの参加者も散見された。応用数学を中心とした会議であるため、現象を中心とした数理モデルの構築ではなく、そういったモデルを背景とした解析学に重きを置く研究が中心であった。力学系や偏微分方程式を中心とした数理モデルの中でも、この分野の昨今の風潮を反映してか疫学モデルが注目を集めていた。特に印象に残ったのは、ニコラ・パカエル氏（本人も参加している）の研究である  $R_0$  の一般化を基にした結果の追従の研究が多かった事である。 $R_0$  は人口学でいう基本再生産数または純再生産率と同値の意味を持つ。安定人口模型では出生率と生残率を用いて表現出来る指標であるが周期環境やその他変動環境においてのこうした指標は自明でない。同氏はこれを周期環境において一般化を成し遂げた。こうした研究の動向を知る上で、人口学に止まる事なく関連の深い疫学の理論などにもアンテナを張る事が学際的にも必要のことと筆者はこの会を通して改めて感じる事ができた。

(大泉 嶺 記)

## 第92回日本産業衛生学会

2019年5月22～25日に、第92回日本産業衛生学会が愛知県・名古屋国際会議場にて開催された。日本産業衛生学会は1929年設立の公益社団法人で、2018年度末の会員数が8,000名弱という大きな学会である。主な会員は、企業に勤める産業医や看護師などであり、仕事や職場に関連した疾病の予防などを行っている。

当研究所からは別府志海・情報調査分析部第2室長が参加し、5月23日に「我が国の将来人口推計と産業保健への影響」と題した教育講演を行った。同講演は60分とやや長めであったが、ほぼ時間いっぱいまで講演を行うと、その後の質疑応答も活発に行われた。なお、この教育講演は日本医師会認定産業医ならびに産業保健看護専門家制度の研修も兼ねており、出席すると所定の単位が得られるようである。

(別府志海 記)

## 国立社会保障・人口問題研究所（IPSS）—韓国保健社会研究院（KIHASA） 第3次日・韓社会政策定例フォーラム（제3차 한·일 사회정책 정례포럼, The 3rd Korea-Japan Annual Social Policy Forum）

2019年5月23日、韓国保健社会研究院と本研究所の共同主催によるワークショップが韓国・ソウル市で開催された。これは両研究所が2009年12月に調印した研究協力に関する共同宣言に基づくものであり、第1回ソウル（2017年2月）、第2回東京（2018年2月）に続く3度目の開催となる。この年

次定例フォーラムでは毎回共通のテーマを設定してきた。第1回は「低出産・高齢化の衝撃と対応」、第2回は「ライフコースを通じた社会保障・人口問題」であり、これらに続く今回は「高齢化の未来：移民と介護労働者 (고령화의 미래: 이민과 돌봄노동)」を共通のテーマとした。当日は、KIHASAのCho 所長による歓迎の挨拶に始まり、二つの個別セッションが設けられ6つの報告とそれぞれの報告に対する討論が日本語・韓国語の同時通訳付きで行われた。報告者と題目は以下の通りである。開会の挨拶 Heung-seek CHO (President, KIHASA) / 조홍식 (한국보건사회연구원 원장)

セッション1 外国人労働・移民 (외국인 노동·이민)

モデレーター：Dae Myung NO (Senior Research Fellow, KIHASA) / 노대명 (한국보건사회연구원 미래전략연구실장)

Sang-Lim LEE (Research Fellow, KIHASA) 「韓国における移民政策の現状と挑戦：高齢化時代のジレンマ」 / 이상림 (한국보건사회연구원 연구위원) 「한국 이민정책의 현황과 도전: 고령화 시대의 딜레마」

鈴木透 (国立社会保障・人口問題研究所副所長) 「東アジアの低出生力と外国人労働力政策」

菅桂太 (国立社会保障・人口問題研究所人口構造研究部室長) 「移民の高齢化—シンガポールの事例から」

コメンテーター：Yoon-Jeong SHIN (Research Fellow, KIHASA), Chang Won LEE (IOM Migration Research & Training Center) / 신윤정 (한국보건사회연구원 연구위원), 이창원 (IOM이민정책연구원 부연구위원)

セッション2 介護・介護従業者 (장기요양·요양보호사)

モデレーター：Jung Suk LEE (Director, Health Insurance Policy Research Institute, NHIS) / 이정석 (건강보험공단 건강보험정책연구원 센터장)

Jeongmi LIM (Associate Research Fellow, KIHASA) 「韓国における介護従事者の現状と課題」 / 임정미 (한국보건사회연구원 부연구위원) 「한국의 요양보호사 현황과 과제」

林玲子 (国立社会保障・人口問題研究所国際関係部長) 「日本における介護従事者の現状と課題」

小島克久 (国立社会保障・人口問題研究所情報調査分析部長) 「日本の『地域包括ケアシステム』について」

コメンテーター：Eunna KANG (Research Fellow, KIHASA), Kyung Zoon HONG (Professor, Department of Social Welfare, Sungkyunkwan University) / 강은나 (한국보건사회연구원 연구위원), 홍경준 (성균관대 교수)

日本側の参加者は本研究所の職員が多いが、韓国側からは報告を行った研究者の他に韓国社会保健研究院の研究者だけでなく、大学等研究機関のほか、マスメディアや一般からも含め40名以上の参加があり、いずれも活発な討論が行われた。 (菅桂太 記)

## 日本人口学会第71回大会

日本人口学会第71回大会は、2019年5月31日(金)～6月2日(日)に香川県高松市の香川大学で開催された。日本人口学会の四国での開催は初めてとのことである。今回は大会開催に先だって巡検および特別セッションが企画され、参加者の間で好評であった。以下では紙幅の都合上、大会プログラムのセッションのみを記す。個別の報告タイトルについては、日本人口学会ホームページ (<http://www.paoj.org/index.html>) を参照されたい。